

大学改革の方向性について

改革の基本的方向：地域貢献型大学として全国一を目指す

1. **学部学科の改編〔資料 2 参照〕（浜田キャンパス）**
 - ・ 県内高校生をはじめ受験生に対する魅力を高め、意欲をもった学生の確保を目指し、コンセプトの明確なわかりやすい学部学科とする。
 - ・ 2021年度に地域系学部、国際系学部を新設
2. **地域連携体制の整備（全学）**
 - ・ 人口減少、少子高齢化、地域産業の振興等の県が抱える課題の解決に向けた実践的な研究を推進する役割を担う「しまね地域共創研究センター（仮称）」を設置
 - ・ 研究成果を新学部及び地域連携推進センターに還元し、実践的な地域志向型教育の充実を図る。
3. **北東アジア地域研究センターの改組転換（全学）**
 - ・ グローバルアジアへ研究対象地域を拡大（東南アジア、南アジアなど）
 - ・ 将来的には北東アジア地域研究センターと、しまね地域共創研究センターを統合し、「しまね国際地域研究センター（仮称）」を設置
4. **高大連携の強化と入試改革〔資料 5 参照〕（全学）**
 - ・ 高校の魅力化と大学での地域志向型教育の接続
 - ・ 県内高校生の入学者増に繋がる入試改革を実施
5. **内部質保証（大学教育改革：全学）**
 - ・ 教育重視型大学を目指し大学改革を進める
 - ・ 2019年度認証評価への対応
6. **ガバナンス体制の整備（全学）**
 - ・ 理事長（学長）のリーダーシップの下で、迅速かつ戦略的に大学改革を実行するため、大学改革本部および理事長特別補佐を設置